

初めての中間テストスタート

18日(火)～19(水)にかけて、新1年生が初めて中間テストを受ける。そこで本コーナーでは、新1年生にテストに対する意気込みをインタビューした。

Q 「一番自信がある教科はなに？」
A 「英語です」

Q 「英語は何点をねらいますか？」

A 「百点です！」

一年生、ファイト！



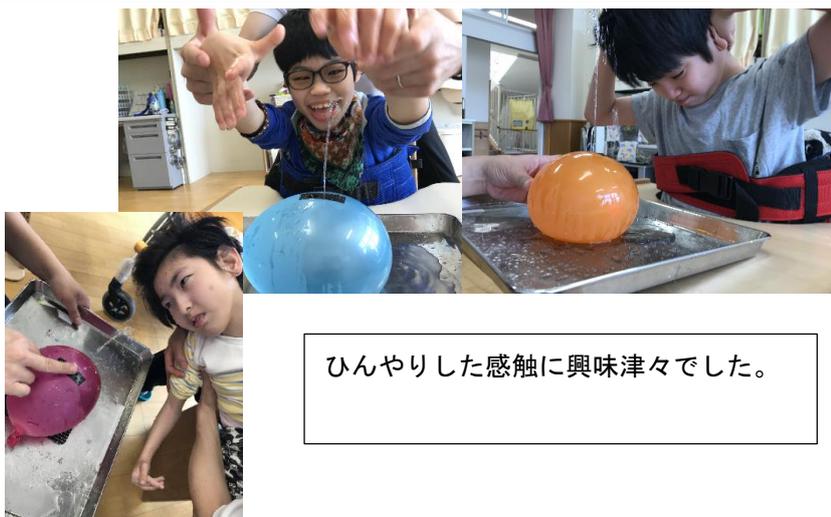
テスト会場では、どの生徒も緊張感をもって中間テストにのぞみました。



英語にかける意気込みを聞きました。

学習の様子を紹介します

△課程の生徒は、生活単元学習で、「私たちの暮らしく夏」の単元に取り組んでいる。冷たい水に気付いて、視線を向けたら、手を伸ばしたりすることがねらいだ。教材には「水風船」を用いた。水風船のひんやりとした感触に、生徒たちはすぐに気付いて、じいっとみつめたり、何度も手を伸ばしてたたいたりすることができていた。



ひんやりした感触に興味津々でした。



「パーン!」「ガッチャーン!」「ズゴーン!」などの音が効果的。



また、国語科の授業では、絵本を使った学習に取り組んでいる。この学習のねらいは、「言葉のひびき」に興味をもつこと。教材には、リアルなイラストが描かれた「カどこ行っただ？」の本を使用した。この本の面白さは、小さなカ(蚊)を、「たたく音」にある。「パーン!」「ズゴーン!」などのその音を教師がいかに表現するかにある。表現の仕方でも力度もアツプするからだ。また、蚊をたたき逃して、蚊がとまっていた場所をうつかり壊してしまうイラストも実に面白い。生徒たちも思わず蚊をたたいてしまふほどだった。